

《病院跡地への立地のお願い》

議会前のお忙しい中、お時間を取っていただきありがとうございます。さて、本日は新図書館の「病院跡地」への立地を求める三団体（新花巻図書館を考える会、まるごと市民会議、イーハトーブ図書館をつくる会）が共同で行った署名をお届けに参りました。署名は10月1日から11月23日までの2か月弱でしたが、全部で（4,730）筆の賛成署名をいただくことができました。内訳は市内が（3,263）筆、県内が（856）筆、県外は沖縄から北海道まで（611）筆になっております。

今回は初めての試みとして、ネット上のホームページやブログなどを通じて署名を呼びかけた結果、全国の宮沢賢治ファンや郷土花巻にゆかりのある方、賢治研究者からも多くの賛同を得られ、新図書館への関心の高さを知りました。その中には宗教学者で当市の初代名誉市民である山折哲雄さん、民俗学者で宮沢賢治・イーハトーブ賞受賞者の赤坂憲雄さん、哲学者で詩人の花崎皋平（はなざきこうへい）さんらも含まれています。また、沖縄・石垣島で85歳の今も軍備増強に反対する運動の先頭に立つ山里節子さんからもエールが届きました。

今後も署名運動を続け、地元だけではなく全国の声を幅広く集め、夢のある図書館の実現を目指していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。最後に請願事項を読み上げさせていただきます。

2023年11月27日

花巻病院跡地に新図書館をつくる署名実行委員会・代表 瀧成子



新花巻図書館建設の建設地は、旧花巻病院跡地に！

請願事項

1 新花巻図書館の場所は、旧花巻病院跡地の市有地にしてください。

駅前の JR の用地は狭く、線路わきで電車が通過する度に騒音や振動が発生、立体駐車場は高齢者や障がい者に使いつらく、維持費もかかります。市議会の特別委員会で新図書館は市有地という条件を出したのに、JR の用地購入は税金の無駄遣いです。一方、病院跡地は敷地が広く、隣接のまなび学園と連携して生涯学習の拠点にふさわしい地区です。

2 新花巻図書館は、宮沢賢治ゆかりの地を生かした図書館にしてください。

日本の作家で世界の言語に最も多く翻訳されているのは宮沢賢治の作品です。世界中の賢治の翻訳本や CD などを収集して閲覧できるは、花巻図書館だからこそできます。稗貫農学校や花巻高等女学校があった跡地周辺は宮沢賢治と妹トシのゆかりの地で、国内外から宮沢賢治ファンが憧れて訪れるような図書館は、花巻のもうひとつの観光名所になります。

3 新花巻図書館は、市民の交流の場となる多目的スペースを備えた図書館にしてください。

市民が利用したくなる図書館は、多目的ギャラリーやカフェを併設すれば、市民の交流と憩いの場になります。霊峰・早池峰をのぞむ景観と花巻城址につづく公園や周辺の大堰川の散策路や商店街を整備して、歩いて楽しめる花巻のまちづくりと活性化が期待できます。使いやすさと建築設計のデザインも、未来の世代に誇れる図書館を希望します。

上記請願事項にご賛同いただける方は、署名をお願いします。花巻市外、岩手県外の方の署名も歓迎です。
都道府県名からご記入下さい。尚、同一住所でも、省略なしで、記入してください。

氏名	住所

主催団体 花巻病院跡地に新図書館をつくる署名実行員会（代表 瀧成子）

取り扱い団体 新花巻図書館を考える会、まるごと市民会議、イーハトーブ図書館をつくる会

お問合せ先 0198(33)0907（向小路まちライブラリー）、0198(22)7291（おいものせなか）

署名送付先 11月23日必着 〒025-0084 岩手県花巻市桜町2丁目187-1 実行委員会事務局（四戸・新田）

#全国署名への経過説明や活動の様子は、おいものブログの中の「夢の新花巻図書館を目指して」で、oimonosenaka.com

